

第1章

はじめに

本論文では、〇〇〇を△△△することにより、□□を明らかとする研究について記述する。

まず、本研究をおこなう背景となった事柄について述べる。次に、研究目的の詳細を記述した後、類似研究との相違や関連研究とのつながりについて解説する。また、次章以降の本論文の構成についてその概略を述べる。

1.1 背景

「背景」には、研究の目的の妥当性を示す事項を説明する。個人的な興味や関心を書くのではなく、客観的な視点で記述する。つまり、その説明には参考文献やデータを参照することが必要となる。

なお、背景をあまり詳しく書きすぎると、2章や3章などで書く内容が無くなったり重複するおそれがある。研究の目的の妥当性につながる程度の内容（詳細さ）でかまわない。

1.2 研究目的

背景によって、研究の大きな目的が導かれる。その大きな目的を正確に定義した後、本研究にて実際にターゲットとする目的を詳細に記述する^{*1}。

また、背景にて実際の詳細なターゲットの必要性を示した場合には、その詳細な条件を記載する。

^{*1} 大きな目的は1年間の研究ではカバーしきれないため

1.3 関連研究

類似研究（同じような研究）とは、どこが違うのか（ターゲット、手法、想定結果など）を述べる必要がある。また、参考にする先行研究（他組織の研究でも良い）とどのような関連性があるのかを述べる。

場合によっては、関連研究が研究目的より先に書いてあった方が「ながれ」が良い場合もある。また、関連研究を背景の中に入れてしまった方が良いケースもある。これらについては、文章を書きながら、判断するしかない。

1.4 論文構成

論文構成では、2章以降の大まかな記述内容の流れを示す。

たとえば、以下の様に記述する。2章では、本研究にて活用した技術や関連サービスについて解説する。3章では、提案・構築したシステムについて詳説する。4章では、システムの有用性を検証する為に行った実験について記述する。最後に5章において、本研究についてまとめ、今後の課題について述べる。

零